

にちにちこれこうじつ 日々是好日



群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 9月 6日
校長だより No. 13

【始業日の様子を紹介】

8月30日の始業日には、みんな元気な姿を見せてくれました。髪を切って、さっぱりと二学期を迎えた子も何人かみられました。私も子どもの頃からの習慣で、夏休みの終わり際に散髪して新学期を迎えました。廊下で会った男の子の髪型をほめると、「ママがパパッと切ってくれました。」と答え、どう、似合うでしょうと言わんばかりに髪をかき上げていました。

各クラスをのぞいてみると、初日と言えども、早速、廊下の雑巾がけに取り組む子、掃除担当場所に行きゴミ集めをする子、粘土で工作に取り組む子もいて、長い休みがあったことを感じさせません。また、夏休みの出来事を順番で発表しているクラス、久しぶりの学校でなんとなく遠慮がちにしているクラスと様々でした。子ども達の方が、すうっと普段の学校生活に戻っていったようです。全体的には順調なスタートを切ることができたと思います。

さて、学校という枠組で見ると、児童生徒は夏休み明けの9月・10月が一年の中で一番不安定になり、不安や悩みを抱きやすい時期です。先日も平田教育長より「保護者のみなさまへ」という通知がありました。学校と家では違う姿を見せているケースもあることでしょう。お子さんのことで気になることがありましたら、学校はもとより、各種相談機関に遠慮なく連絡をとりましょう。

【1号車におろし忘れ警報器が付きました】

スクールバスの乗車・下車の確認は介助員さんと運転手さんが丁寧に行っています。学校に到着してからも、すぐに大人がバスから離れることはなく、自家用で送迎されえる方の出入りが終わるまで駐車場で待機しています。この度、本来の運行車両である1台については、規定により、おろし忘れ警報器を設置しました。

【桐生市能・狂言鑑賞教室に行ってきました】

市内の中学校と一緒に中学部の生徒は、桐生市民文化会館で行われた能を鑑賞してきました。演目は、狂言「呼声」、能「清経」です。

「呼声」は仕事をさぼり居留守を決め込む太郎冠者に対し、主人と次郎冠者が太郎冠者の家に出向き様子を伺う。呼びかけても留守だという返事。居留守をつかっていることは見え見えなので、二人は本人に白状させようとあの手この手を繰り出すというコミカルなやり取りが見られました。

「清経」は都で暮らす平清経の妻のもとに、清経が入水したという悲報と清経の遺髪が届く。遺髪を手渡された妻は、夫を恨み、悲嘆にくれ、遺髪は宇佐八幡宮に返納してしまう。すると、清経の霊が鎧姿で現れる。清経の霊は、死に至るまでの様子を語りながら見せて、極楽往生を願おうと入水したこと、死後の修羅道の惨状を現します。そして最後に、念仏によって救われる。そのもの悲しい姿を見ることができました。

芸術の秋です。興味のある方は、鑑賞してみたいかたがでしょう。今は動画配信もあります。が、独特の雰囲気味わう鑑賞の機会をいただけて本当に良かったと思います。



【学校間交流】

夏休み中に、菱小の校長先生と、運動会での交流のもち方について協議しました。本校の運動会は9月29日、菱小学校の運動会は10月です。例年3年生にこの交流用にダンスを覚えてきてもらっています。そこで、毎年、短い期間で新しいダンスを覚えるのではなく、「運動会と言えばこれ」というものを用意したいと考え、八木節をみんなで踊ることにしました。8月30日には、職員で八木節の手踊り研修を行いました。

7日には宮村教頭先生と中学部の有志が菱小3年生に踊りを教えに行く予定です。地元桐生の八木節で学校を盛り上げていきましょう。

同じく夏休みに、今年度の学習発表会の開催について、実行委員会を開きました。菱小校長、川内中校長、梅田南小の担当教諭、広沢中の担当教諭、そして本校校長と教務主任がメンバーです。今年度は土日に作品展を挟む金・月曜日開催となります。役割分担と来場者数の調整など、新しい形での学習発表会となります。

【お願い】

一学期末に行った「学校評価」や「いじめアンケート」など、これからもグーグルフォーム等を用いて各種アンケートの回答をお願いすることがあるかと思ひます。皆さん全員からご回答いただきたいと考えております。その際は、ご協力お願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は5類となり、濃厚接触者の概念もなくなり警戒感は薄まりましたが、感染拡大は引き続き防ぎたいものです。本人やご家族に陽性者がある場合は、学校にもお知らせください。修学旅行や体育行事を成功に導くため感染防止に協力をお願いします。